

【めむろ未来ミーティング】

令和4年11月8日(火)

16:05～16:55

芽室高校新聞局

■参加者 芽室高校新聞局6人 担当教諭1人

■芽室町 町長、まちなか再生若手チーム3人
児童係小川主事（元芽室高校新聞局）

■記録 松田

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 意見交換

テーマ「高校生が考える魅力あるまちなかとは」

●町長挨拶

【町長】

芽室町では、いま20年後を見据えて「まちなか再生」について住民を巻き込んだ議論を進めています。そんな中で、今回高校生の皆さんとこうして議論の場を持つことはとても嬉しく思っています。

皆さんもご存じだと思うが、かつて芽室高校というのはまちなかに位置していた。当時は高校生の姿がまちなかにあり、賑わいがあった。いまは芽室高校も移転し、大成駅もできたことで、人の動きや流れが大きく変わってしまい、まちなかの賑わいというものが少なくなりました。

全国的に少子高齢化が進む中で、芽室町も当然これからの人口減少は避けて通れないものと思っている。しかし、そのような状況でも、いかにまちなかを活性化していくかというのを考えていかなければならない。そのために、現在、町民による検討委員会を立ち上げ、議論を進めてもらっている。なるべく多くの人たちの色んなアイデアをもらいながら、町・民間事業者・そして町民が知恵を出し合い、どんな施設があったらよいか、どんな仕掛けがあれば

人が集まる場所になるか等、多くの意見を聴きながら計画を作り、それをまちづくりに反映していきたいと考えている。

芽室町には、まちづくり参加条例というのがあるが、これは、芽室町に住んでいる人はもちろんだが、その他に、ここで働いている人、ここで学んでいる人もまちづくりに参加できるように記されている。まさしく今ここにいる皆さんも芽室高校で学んでいる人になるわけで、新聞局という立場の皆さんには、まちの課題を取材して考えをまとめるなど、高校生にとっても積極的にまちづくりに参加できることをアピールするような活動も考えてもらいたいと思う。

●芽室町のまちなかを歩いたことがありますか

【意見】

小さい頃に両親に連れられて、新嵐山や芽室公園にいったことはあるが、まちなかには、ほぼ行ったことがない。大型スーパーには何度か行ったことがあるが、商店街などは入ったことがない。

【町長】

わざわざ芽室に出てくるよりは、やはり大成駅から帯広方面に行く流れなのだと思う。

例えば、大成駅から芽室駅まで行き帰りのJRチケットを月1回程度助成して、まちなかまで高校生に来てもらうということも一つの方法ではである。まずはまちなかを知ってもらうことが大事だと思う。

●まちなかに、どんな「コト」「モノ」があったら良いと思いますか。いまの高校生にとって、行ってみようと思わせるコトやモノとは、なんですか？

【意見】

道の駅、イオンモール、トレンドのファッションを取り入れた店、定期的なイベント（お祭り）があるとよい。

芽室高校生限定のスタンプラリー。町内の数か所程度を自転車でもわり、スタンプを集め、500円から1,000円くらいの町内で使える商品券に交換できるようにになったら面白いと思う。

【町長】

必ず、子どもたちにあったら良いものを聞くと、マックやスタバといった声が出てくる。今の若い人たちは、やはりそういった気軽に集まれる場所を求めているんだと思う。

先日、カチフェスというイベントを芽室公園で開催した。2日間で1万人くらいの集客があった。そういうイベントは魅力を高める大きなきっかけである。

【意見】

芽室公園は、とても広くて綺麗な公園。もう少し遊具があったらよいと思う。

【町長】

現在、遊具は下の方にあるが、わかりづらい。そして古い。これからできるかどうかの検討は必要だが、遊具を上を持ってこることができないか検討している。そしてファミリー層を呼び込みたいと思っている。管内でもあちこちに遊具をそろえた公園がある。子どもが楽しめる場所ができると、ファミリーが来る、そういうターゲットをうまくまちなかに呼び込めればよい。

【意見】

事前に3年生2クラスに「まちなかに、どんな「コト」「モノ」があったら良いか」について聞き取りをしてみたところ、芽室公園に関して言うと、かなり的人数が親しみを感じてことが分かった。意見の中には、小さいお子さんだけでなく、高校生や大人も楽しめるアスレチックや大人も自然の中で過ごせるような空間がほしいという声があった。

新嵐山については、リニューアル前は、外に券売機があったのに、いまは中に移って不便と感じている。名物の大判焼きがなくなったのが残念という声もあった。

他には、高校生が気軽に入れるカフェがあるとよいという意見が多く聞かれた。

【町長】

確かにカフェはあるが、高校生が気軽に入るとなると、言われるとおりかもしれない。

新嵐山は昔、夏、グリーンシーズンはパークゴルフの利用くらいしかなかったが、最近は大きくリニューアルし、キャンプ関係、グランピングに力を入れている。ぜひ行ってみて感想も聞かせてほしい。

芽室の13戸の農家が、0.8ヘクタールだったピーナツ畑を10倍に広げて頑張っている。そのピーナツで作っているメムピーソフトも魅力。ぜひ食べに行ってみてほしい。

【意見】

新聞局で「芽室町にどんな支援をしてほしいか」という学校アンケートを取った。通学費補助や検定料などの希望がある。参考にしてもらえればと思う。

【町長】

高校生の皆さんもまちのことをしっかりと考えてもらう。町もそれに対して出てきた意見を考える。そうしてお互い Win-Win となる関係づくりをしていくことが大事だと思っている。これまでも協力はしてもらっているが、イベントやゴミ拾い等、いろんな事を通して芽室高校との関係性ができあがってくれば、町としても高校生の皆さんのために、何ができるかと前向きに考えていくことになる。今まで、そういったチャンスもなかったと思うので、こういうのをきっかけにいろいろ意見交換できればと思う。

特に新聞局は、こういった意見の取りまとめをしたり、芽室高校の窓口として、積極的に関わってもらいたい。

【担当教諭からの意見】

芽室高校は間口減の危機がある状況である。より特色のある学校づくりをしていかなければならない。ほかの高校との差別化を考えるうえで、先ほどの検定料支援などについても、ひとつの目玉になるのではと考えている。今までの芽室高校がおかれている環境と大きく変わってきていることを町民の方にも理解してもらえればと思う。

【町長】

芽室高校の定員割れの話は、町としても危機感を持っている。ただ、まずは学校全体として、PTAや同窓会も含め、学校の特色をどうしていきたいのか、学校としてどう考えているのかをまとめていただいて、そしてそれをもって町と話していくことがよいと思っている。こういうことは、慌てて急にやってもうまく進まないが、早めに検討していくことは必要と考えている。その前段で、学校全体としてどう考えているのかを町としては共有させてもらいたいと思う。

（16：55終了）

【ミーティングの様子】

